

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010 年 4 月 1 日を以って NEC エレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010 年 4 月 1 日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-16C-A144A/J	Rev.	第 1 版
題名	R8C/18,19,1A,1B グループ 自動書き込み、自動消去期間中の高速オンチップオシレータの精度に関する 注意事項		情報分類	技術情報	
適用製品	R8C/18,19,1A,1B グループ	対象ロット等	—	関連資料	

高速オンチップオシレータの周波数は、フラッシュメモリの CPU 書き換えモードで、自動書き込み期間中または自動消去期間中に最大 10% (注 1) 変動する可能性があります。自動書き込み終了後または自動消去終了後の高速オンチップオシレータの周波数は、プログラムコマンドまたはブロックイレーズコマンド発行前の状態になります。またリードアレイコマンド、リードステータスレジスタコマンド、クリアステータスレジスタコマンド発行時は該当しません。

応用製品設計の際には周波数変動に対して十分考慮してください。

(注 1) 出荷時に調整されている 8MHz の周波数に対する変動率

表 1. 高速オンチップオシレータ発振回路の電気的特性

項目	測定条件	規格値			単位
		最小	標準	最大	
リセット解除時の高速オンチップオシレータ発振周波数	Vcc=5.0V、Topr=25°C	—	8	—	MHz
高速オンチップオシレータ発振周波数の温度依存性	0~+60°C/5V±5%	7.76	—	8.24	MHz
	-20~+85°C/2.7~5.5V	7.68	—	8.32	MHz
	-40~+85°C/2.7~5.5V	7.44	—	8.32	MHz

注. 詳細内容はハードウェアマニュアルをご確認ください。

表 2. 自動書き込み期間中または自動消去期間中の高速オンチップオシレータ発振回路の電気的特性

項目	測定条件	規格値			単位
		最小	標準	最大	
高速オンチップオシレータ発振周波数の温度・電圧依存性	-40~+85°C/2.7~5.5V	7.44	—	8.80	MHz